



校長 坂本 晋

みたけが原便り

第13回 「賢く冷静に対処しよう」

(4月新型コロナウイルス対応メッセージより)

新年度が始まりましたが新型コロナウイルスが全国で猛威を振るっています。皆さんも不安を抱えながら学校生活を送っていると思います。そこで今日は新型コロナウイルスへの対処の心構えについて話します。よく聞いて下さい。

新型コロナウイルスの感染者は16日に日本で1万人を超え、その夜には国から非常事態宣言が全国の47都道府県に発出されました。皆さんは日々のニュース画面の中で、ここ数日岩手県だけが新型コロナウイルスの発症者を出していない唯一の県として、別な色で表示されている日本地図を見てきたことと思います。

岩手県はまだウィルスに汚染されていないのに何故同じ一律の扱いを受けるのかと疑問に思う人もいるかもしれません。都道府県という線を引いて見れば確かにそうですが、今日本は全土が新型コロナウイルスの感染を許している国であり、私たちの住む岩手県も日本の地域の一部なのです。その事実をふまえて皆さんは的確に対処しなければなりません。

まず心に留めて欲しいのは「正しくそして賢く恐れる」という姿勢です。ウィルスの脅威から自分自身はもちろん家族や友だちといった大切な人を守るため、皆さんには冷静で賢明な行動が求められます。

感染症との闘いは、相手が目に見えないウィルスだけに、過度に不安がったり、逆につい油断したりしがちです。大切なのは、謙虚な気持ちで科学的な事実に基づいた行動を取ることです。

皆さんには4月6日、厚生労働省の発信情報をもとに、「新型コロナウイルス感染防止対策に関わるQ&A」として分かりやすく文書にま

とめて配付しています。HPやクラッシーにもアップしていますので、自分たちの学校生活を守るためにも、よく読んでそれにもとづいて行動して下さい。

ともすると、人は身に迫る危険に対してこれを甘く見るという過ちを犯しがちです。「自分だけは大丈夫だろう」という根拠のない自信を持ってしまふ。これを「正常バイアス」といいます。危険を過小評価し、対岸の火事だと思って高をくくったために痛い目に遭ったという話は、古今東西枚挙にいとまがありません。

痛い目に遭うくらいならまだ良い。痛いと感じられるのは生きていればこそです。命を失ってしまったでは取り返しがききません。後悔先に立たず。このウィルスは、おかしいな変だなと思っている内に、あれよあれよという間に大事な命を奪っていきます。

バイアスの具体的な教訓を私たちは持っています。近くは9年前の東日本大震災です。津波には歴史的に強い警戒心と知見を持っていたはずの三陸沿岸の人たちでしたが、いくら何でもここまでは津波が来ないだろうと油断してしまつた。バイアスが働いたため命を守れなかったという事例が数多く報告されています。それまでの常識や経験では津波がこの堤防を越えるはずがない、この場所までは届くはずがないと思われていた高さを軽々と越えて、津波は押し寄せました。

一旦発症してしまうと、新型コロナウイルスには残念ながら今のところ特效薬がありません。したがって、この治療をすれば治るという保障がありません。罹患しても比較的軽症ですむ場合もありますが、重篤になる率は2割ほどといわれています。これは決して低い数字ではありません。

一番気をつけなければならないのは、自分が感染していることに気がつかないまま身近な人と接してウィルスを移していないかということです。皆さんが教室でマスクを着けて少し距離を取りながらも友だちと話が交わせるのは、相手を信頼しているからこそですね。感染防止のための約束事を守ってくれているという信頼感があるからです。それを裏切らないように、お互いが細心の注意をもって配慮し合う必要があります。

さてしかし、それでも不可抗力は生じます。誰もが感染する可能性がある今、万が一家族や友だちなど身近な人がそうなる場合、それを非難するような言動は絶対にとってはいけません。なぜなら、心ならずも皆さんを危険にさらしたことで一番苦しむのがその人だからです。ましてや、コロナウィルスを種に、安易な気持ちで友だちをからかったり中傷したりすることは断じて許されることではありません。

皆さんの命と安全を守るために、本校はしばらくの間、時差登校という措置をとります。不便をかけることにはなりますが、こうした逆境の時こそ、空いた時間を有効に使って自分で計画を立てて自律的に学んでいく。そういう姿勢と習慣を身につける絶好のチャンスでもあります。

また、ゲームやスマートフォンに多くの時間を費やすのではなく、家族や友だちが奨めてくれる本を読むのも良いでしょう。新聞に目を通すと世界が広がるのを実感することできると思います。そうすれば、この期間はこれまでの自分の殻を破り新しい自分に脱皮する機会にもなります。ピンチをチャンスに変えられるのが中央附中生たるゆえんです。

この後も、皆さんには、皆さんの命と安全を守るために、さらに理解してもらい協力してもらおうことが出てくると思います。皆さんには出来ることがあり、実行する力があります。呼びかけにしっかり応えてくれるものと確信しています。

普段の何気ない行動にも、たえずこれでいいのかなと自分の言動を振り返ること。これは軽率な行動ではないか？こんなことをしたらこんな結果を招くのではないかと。いろいろな事態を想定してリスクを測り冷静に行動すること。いまこそ「想像力」つまりは「思いやり」を発揮する時です。今は困難な状況にありますが、自分を厳しく律することと相手を思いやる気持ちとで乗り越えていきましょう。それが中央附中スピリットです。

皆さんに期待します。



※ 動画はこちらからご覧ください

<https://www.chuo-jhs.jp/1625/>